

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
32028	X-21-B-1-320287	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
英語 1bA	矢口 裕子			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×			

#### 授業目的

この授業では、文法項目の総合的再確認を一つの柱とし、日本を訪れる外国人に日本を紹介する表現を学ぶことをもう一つの柱とする。文法・コミュニケーション・読解能力の総合的向上、ならびに異文化間コミュニケーション能力の育成をめざす。

#### 各回毎の授業内容

<b>第1回</b> 【授】イントロダクション 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。	<b>第9回</b> 【授】4. デバ地下でお買い物② 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。
<b>第2回</b> 【授】1. 空港で① 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。	<b>第10回</b> 【授】5. お花見① 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。
<b>第3回</b> 【授】1. 空港で② 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。	<b>第11回</b> 【授】5. お花見② 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。
<b>第4回</b> 【授】2. マシヨンに到着① 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。	<b>第12回</b> 【授】6. 浅草へ行こう① 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。
<b>第5回</b> 【授】2. マシヨンに到着② 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。	<b>第13回</b> 【授】6. 浅草へ行こう② 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。
<b>第6回</b> 【授】3. お客様を迎える① 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。	<b>第14回</b> 【授】7. 秋葉原を散策① 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。
<b>第7回</b> 【授】3. お客様を迎える② 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。	<b>第15回</b> 【授】7. 秋葉原を散策② 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。
<b>第8回</b> 【授】4. デバ地下でお買い物① 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。	<b>第16回</b> 【授】試験 【前・後】毎回の予習復習に計1時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらう。

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							10
授業態度・授業への参加							10
成果発表(口頭・実技)							10
演習							
その他							

小レポートにコメントをつけ返却、プレゼンへの講評。

#### 教科書参考書

Introduce Japan in Easy English(朝日出版社)

#### 受講に当たっての留意事項

全員が予習してきていることを前提に授業を進める。出席のための出席は意味がない。辞書は必ず持参のこと。

#### 学習到達目標

文法の総復習、コミュニケーション・読解能力の向上をめざす。

#### JABEE

英作文・小レポート課題にコメントをつけ返却、講評を行う。

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
32028	X-21-B-1-320287	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
英語 1bB	増田 瑞穂			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×			

#### 授業目的

250字程度の英文記事を読み、それをもとにしたクラス活動を通してディプロマポリシーにおける高度な語学運用能力の基礎を身につけることを目的とする。

#### 各回毎の授業内容

<b>第1回</b> 【授】オリエンテーション、自己紹介、グループ決め 【前・後】予習復習に1時間 <b>第2回</b> 【授】Unit 1: Uniquely Japanese Hospitality 【前・後】予習復習に1時間  <b>第3回</b> 【授】Unit 2: "Time Machine" With a Flag on Top 【前・後】予習復習に1時間  <b>第4回</b> 【授】Unit 3: Start and Finish Work Earlier   グループ発表① 【前・後】予習復習に1時間 <b>第5回</b> 【授】Unit 4: Humanoids in the Aging Society   小テスト① 【前・後】予習復習に1時間 <b>第6回</b> 【授】Unit 5: No Longer a Man's World 【前・後】予習復習に1時間  <b>第7回</b> 【授】Unit 6: What Will the 2020 Games Give Us?  グループ発表② 【前・後】予習復習に1時間 <b>第8回</b> 【授】Unit 7: Your Name Is Not on the List  小テスト② 【前・後】予習復習に1時間	<b>第9回</b> 【授】Unit 8: When Quakes Hit, Eruptions May Follow 【前・後】予習復習に1時間 <b>第10回</b> 【授】Unit 9: As Young as 70 Years Old  グループ発表③ 【前・後】予習復習に1時間 <b>第11回</b> 【授】Unit 10: The Music Industry Needs to Change  テスト③ 【前・後】予習復習に1時間 <b>第12回</b> 【授】Unit 11: Don't Kill Lions to Prove Manhood 【前・後】予習復習に1時間  <b>第13回</b> 【授】Unit 12: How About a Nose Job in Malaysia?  グループ発表④ 【前・後】予習復習に1時間  <b>第14回</b> 【授】Unit: 13: Bats Carry Ebola but Don't Get It  テスト④ 【前・後】予習復習に1時間 <b>第15回</b> 【授】Unit 14: Animals' "Human" Rights!?  ループ発表⑤ 【前・後】予習復習に1時間 <b>第16回</b> 【授】定期試験 【前・後】予習復習に1時間
--	--

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							20
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							20
授業態度・授業への参加							10
成果発表(口頭・実技)							10
演習							
その他							20

・定期試験：点数分布や平均点などをポータルや掲示にて公表し、講評を加えます。・小テスト：採点をして返却し、解説をします。  
 ・予習(宿題)：毎授業の初めに確認します。・グループ発表：第1回目の授業で配布する評価基準表で自己評価および相互評価を行い、その結果を反映した評価結果シートをグループメンバーに渡します。・Extensive Reading (ER 多読)：毎日英語の本を読み、『めざせ100万語 読書記録手帳』に読んだ本の文字数を記録し、125,000 wordsを上限として20%反映させます。

#### 教科書参考書

静哲人『Reading in Action Basic』金星堂

#### 受講に当たっての留意事項

全員が予習してくることを前提として授業を進めます。毎回必ず英語の本と辞書を持参してください。  
 5回以上欠席がある場合は単位が取れなくなる恐れがありますので、十分注意してください。20分以上の遅刻は欠席とみなします。

#### 学習到達目標

多様なクラス活動を通し、①英文記事で使われた主要な語彙や表現がすらすらと言えたり書いたりできるようになる。  
 ②英文記事の内容を簡単な英語で要約できるようになる。  
 ③扱われたテーマについて、自分の意見がある程度言えたり書いたりできるようになる。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
32028	X-21-B-1-320287	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
英語 1bC	山崎 祥子			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×					

#### 授業目的

現代日本社会に強い影響を与えている出来事に関する文章を教材とし、異文化理解の基礎となる自国の歴史や文化への関心を高めながら英文読解力を育成する。  
英文や洋書を読む態度を育て、英語の感覚を自然に身に付ける。

#### 各回毎の授業内容

<b>第1回</b> 【授】 Introduction 【前・後】 予習復習1時間。授業内容と予定をつかみ、授業準備をする。	<b>第9回</b> 【授】 8 The Trouble with Bubbles 【前・後】 予習復習1時間。次回のUnitを予習し、既習Unitの復習をして小テストに備える。
<b>第2回</b> 【授】 1 More Than Just a Game 【前・後】 予習復習1時間。次回のUnitを予習し、既習Unitの復習をして小テストに備える。	<b>第10回</b> 【授】 9 The "M" Curve 【前・後】 予習復習1時間。次回のUnitを予習し、既習Unitの復習をして小テストに備える。
<b>第3回</b> 【授】 2 On the Ring of Fire 【前・後】 予習復習1時間。次回のUnitを予習し、既習Unitの復習をして小テストに備える。	<b>第11回</b> 【授】 10 Endangered Species 【前・後】 予習復習1時間。次回のUnitを予習し、既習Unitの復習をして小テストに備える。
<b>第4回</b> 【授】 3 The Great Toilet Paper Panic 【前・後】 予習復習1時間。次回のUnitを予習し、既習Unitの復習をして小テストに備える。	<b>第12回</b> 【授】 11 The Health of Social Insurance 【前・後】 予習復習1時間。次回のUnitを予習し、既習Unitの復習をして小テストに備える。
<b>第5回</b> 【授】 4 Escalation of the Student Movement 【前・後】 予習復習1時間。次回のUnitを予習し、既習Unitの復習をして小テストに備える。	<b>第13回</b> 【授】 12 Japanese Domestic Terrorism 【前・後】 予習復習1時間。次回のUnitを予習し、既習Unitの復習をして小テストに備える。
<b>第6回</b> 【授】 5 Okinawa's Guns and Roses 【前・後】 予習復習1時間。次回のUnitを予習し、既習Unitの復習をして小テストに備える。	<b>第14回</b> 【授】 13 Guilty? You Decide 【前・後】 予習復習1時間。次回のUnitを予習し、既習Unitの復習をして小テストに備える。
<b>第7回</b> 【授】 6 The Beatles Typhoon 【前・後】 予習復習1時間。次回のUnitを予習し、既習Unitの復習をして小テストに備える。	<b>第15回</b> 【授】 REVIEW 【前・後】 予習復習1時間。Book Reviewの準備をし、振り返り学習をする。
<b>第8回</b> 【授】 7 Yearning for Yen 【前・後】 予習復習1時間。次回のUnitを予習し、既習Unitの復習をして小テストに備える。	<b>第16回</b> 【授】 期末試験 【前・後】 期末試験に向けてこれまでの学習を復習する。

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							50
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							10
授業態度・授業への参加							10
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							10

小テストの採点・返却・講評。

その他： Extensive Reading (多読) 10%

毎日英語の本を読むこと。『めざせ 100万語 読書記録手帳』に読んだ本のワード数を記録したものを 125,000 words を上限として 10% 反映。

#### 教科書参考書

Mark D. Stafford 著 Shaping Modern Japan (Cengage Learning)

古川昭夫 著 めざせ 100万語 読書記録手帳 (コスモピア)

#### 受講に当たっての留意事項

遅刻 2回で欠席 1回とする。欠席 5回で定期試験の受験資格喪失。

英語辞書と多読用の本を持参すること。

#### 学習到達目標

明解な英語で書かれた日本の社会や歴史に関するエッセイを正確に読むことができる。

自ら進んで英語を読む態度が身に付く。

#### JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
32028	X-21-B-1-320287	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	
英語 1bD	矢口 裕子			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×			

#### 授業目的

リスニング・発音の訓練に最適であるとともに、口語英語・イディオム表現の宝庫である英語のポップスを素材に英語を学習する。英語の音とことばに対する感覚をともに磨き、高度な語学運用能力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄ますことを目指す。テキストにそってリスニング・文法・リーディングの問題に取り組むとともに、それぞれの曲の歌詞に担当学生の訳を提供してもらう。取りあげる曲は変更する可能性がある。また、学生が自分の好きな曲を選び、リスニングの穴埋め問題・訳詞の作成をしてもらうこともありうる。

#### 各回毎の授業内容

<b>第1回</b> 【授】イントロダクション 【前・後】1章予習 <b>第2回</b> 【授】1. My Heart will Go On① 【前・後】1章①復習、1章②予習（計1時間） <b>第3回</b> 【授】1. My Heart will Go On② 【前・後】1章②復習、2章①予習（計1時間） <b>第4回</b> 【授】2. Open Arms① 【前・後】2章①復習、2章②予習（計1時間） <b>第5回</b> 【授】2. Open Arms② 【前・後】2章②復習、3章①予習（計1時間） <b>第6回</b> 【授】3. Don't Look Back in Anger① 【前・後】3章①復習、3章②予習（計1時間） <b>第7回</b> 【授】3. Don't Look Back in Anger② 【前・後】3章②復習、3章③予習（計1時間） <b>第8回</b> 【授】4. A Whole New World① 【前・後】4章①復習、4章②予習（計1時間）	<b>第9回</b> 【授】4. A Whole New World② 【前・後】4章②復習、5章①予習（計1時間） <b>第10回</b> 【授】5. Livin' la Vida Loca① 【前・後】5章①復習、5章②予習（計1時間） <b>第11回</b> 【授】5. Livin' la Vida Loca② 【前・後】5章②復習、6章①予習（計1時間） <b>第12回</b> 【授】6. Kiss of Life① 【前・後】6章①復習、6章②予習（計1時間） <b>第13回</b> 【授】6. Kiss of Life② 【前・後】6章②復習、プレゼン準備（計1時間） <b>第14回</b> 【授】学生によるプレゼンテーション 【前・後】プレゼン準備（1時間） <b>第15回</b> 【授】まとめ 【前・後】総復習（計1時間） <b>第16回</b> 【授】試験／レポート 【前・後】試験準備／レポート執筆
---	---

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							10
授業態度・授業への参加							10
成果発表（口頭・実技）							10
演習							
その他							

授業ごとに担当者を決めて発表させる課題、プレゼンへの講評

#### 教科書参考書

English with Hit Songs（成美堂）

#### 受講に当たっての留意事項

全員が予習してくることを前提として授業を進める。担当者が正当な理由と適切な対応なく欠席した場合は大幅原点。出席のための出席は意味がない。

#### 学習到達目標

リスニング・発音の訓練、口語・イディオム表現、英語に対する言語感覚とともに、ポップスの背景にある英語圏の文化・歴史に関する知識が身につく。

#### JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習